

# 平成30年度 学校評価のまとめ

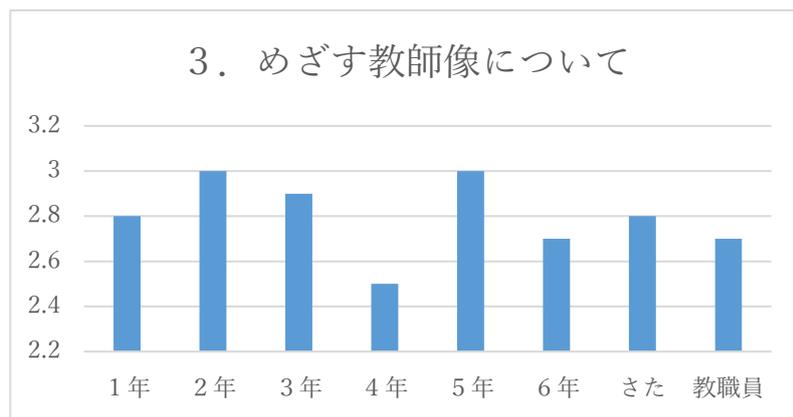
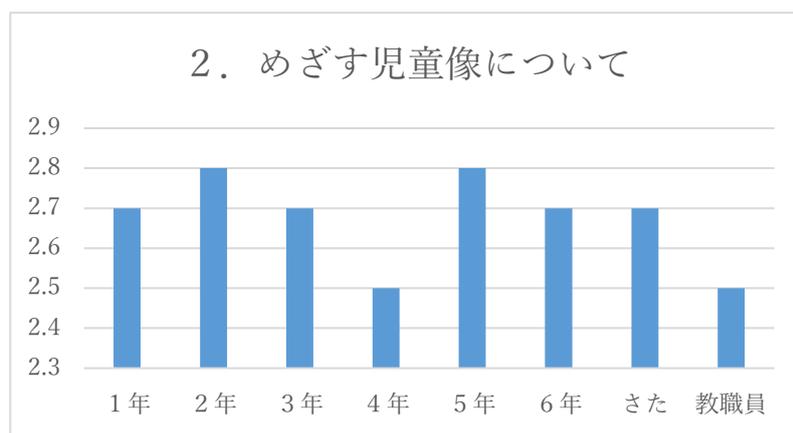
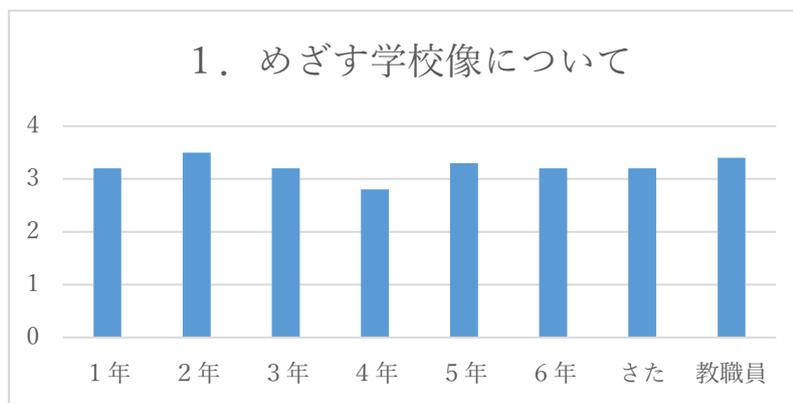
平成31年3月5日

柏市立大津ヶ丘第二小学校  
校長 富澤 英樹

平成30年度の学校評価（1学期末，2学期末）を基に，平成30年度の学校経営における改善点を以下に記載します。ご協力ありがとうございました。

アンケート資料より

（ 4:良くできている 3:大体できている 2:あまりできていない 1:できていない ）



平成30年度，本校は，めざす姿を大きく3つの観点から絞り込んで学校経営グランドデザインを描き，それらの具現化をめざしてきました。

学校評価は，その3点を保護者への学校評価アンケート，教職員の内部評価として①1学期の実践，②1学期末の中間評価，修正，③2学期の実践，2回目の評価，③次年度への準備と3段階でのステップを踏み，PDCAサイクルにもとづいて教育活動を行ってきました。

## 1. 上記の3つのグラフを比較より

保護者と教職員の点数のずれが、「めざす学校像」についてにおいて、出ているが、2のめざす児童像については、どの項目もまだまだ努力が足りないという評価で、両者とも一致した結果を得られました。学校がめざす方向性は、これで良いとの評価を戴いたと感じています。

## 2. めざす学校像について

- ① 比較的数値が高いものが多い中で、保護者の意識と教職員の意識のズレが大きいものが、
  - 2. 学校は児童を一個の人格ある人として尊重して教育にあたっている。
  - 5. 学校は、道徳教育に熱心に取り組んでいる。
  - 6. 登下校、授業中の安全確保に努めている。
  - 7. P T A活動が盛んである。
  - 8. 地域への情報発信、協力に熱心である。 の5項目である。
- ② 2については、児童の話をよく聞いてあげるといふ姿勢がより求められると思われまふ。聞いて、はき出してから是々非々の判断を下し、失敗したものは、今後どうしていけば良いのかを示して、励ますことがより必要である、ことを示していると思ひます。
- ③ 道徳については、授業参観で一斉に行う、学年全体で行う道徳も今後実践していきます。保護者の皆様に、より関心をを持っていただくためにも、授業参観のうち1回は、「特別の教科道徳」を実施していきます。

## 3. めざす児童像について

- ① 「11. 学校の授業はわかる」「12. 授業が楽しい」という2点については、教職員の授業スキルを今以上に上げていく努力が常に求められます。
- ② 「楽しい」から「わかる」は一概に言えないことです。楽しいだけで終わってしまう児童もいます。そこから、いかに練習して練り上げていくが、授業の全体的なマネジメントといえます。しかし、楽しくなければ、わからない児童は増加することは確実に言えることです。

## 4. めざす教師像について

- (ア)「教職員は、教育に関して高い識見と専門性を持っている。」については、現在教職員は、基礎学力増強がどう日常の成果につながるかということを実践検証中です。
- (イ)「教職員は、めざす学級像、身につけさせたい学力をわかりやすく情報発信している。」については、学年通信の「学習面」の内容の充実、明快が必要だと反省し、次年度から内容を工夫していきます。
- (ウ)教育活動についての「地域との連携」は、地域の方をボランティアのメンバーに組み込んでいくことや、校内の行事に参加していただくことで、地域とのつながりを深めていきたいと思ひます。
- (エ)どの教科も、反復練習の時間を多くとるためにも、授業の進度に緩急をつけていきます。反復復習をより多く行い、応用へとつなげていきます。